

令和2年度 沖縄県総合防災訓練

実施計画概要



令和2年8月16日(日)

沖縄県・豊見城市

訓練実施要領案（抜粋）

1 目的

この訓練は、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営に特化した訓練とし、防災関係機関及び地域住民の参加のもと、災害時における連携や対応状況を検証するとともに、広く県民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2 訓練内容

(1) 日時 : 令和2年8月16日(日) 10:00～15:00
(8月14日(金)に情報伝達(連絡)訓練)

(2) 場所 : 豊見城中学校、体育館周辺

(3) 主要訓練項目

避難所における新型コロナウイルス感染症対策の促進及び住民への周知等に重点を置き、下記の訓練項目を実施する。

- ・ 情報伝達訓練 → 県、地方本部、市町村の災害対策本部機能の強化
- ・ 応急対策訓練 → 避難所設営、消防・警察・自衛隊等の関係機関と連携した地域の救援・受援体制の整備
- ・ 防災力向上訓練 → 自主防災組織との協働による避難所設営を行い、自助・共助による地域防災力の向上を図る
- ・ ライフライン協定団体との有機的な連携

3 主催

沖縄県、豊見城市

訓練実施要領案（抜粋）

4 実動訓練の細部項目

(1) 避難所開設・運営

ア 避難所の開設

運営委員会設置、使用物資の準備、運営スタッフの健康管理等

イ 避難者の受け入れ

受付の設置、避難者が持参する物の確認、避難者の検温及び誘導等

ウ 避難者の割り振り

共同空間の設定、占有スペースの区画割り、割り振りエリアの確認等

エ 保健・衛生・救護

定期的な見回り、体調不良者の対応、消毒、派遣医師との連携等

(2) 関係機関の救援・受援

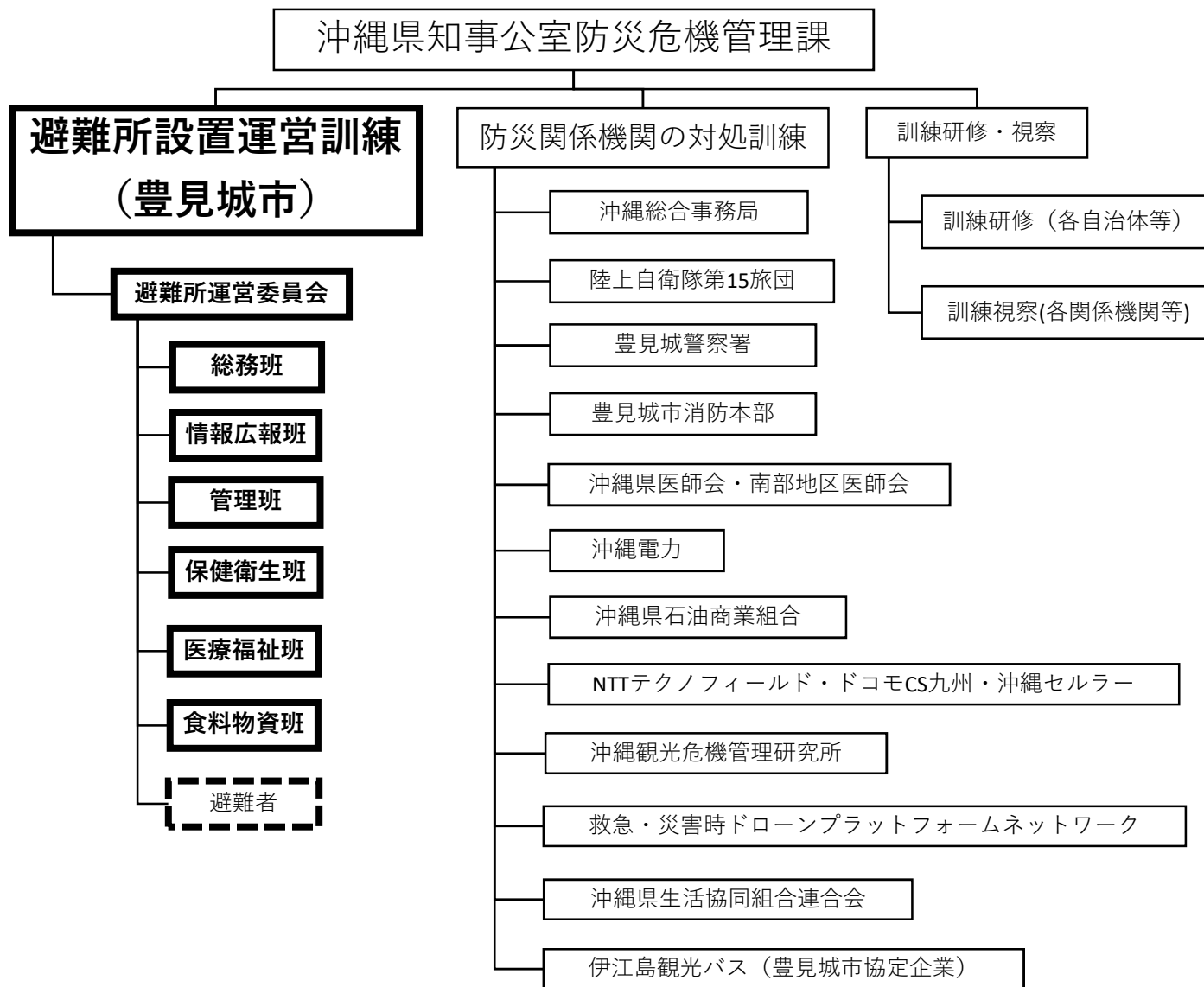
ア 医師会、自衛隊、消防、警察等との連携

イ ライフライン協定団体との連携

5 訓練参加機関・団体

沖縄県、豊見城市、豊見城市消防本部、陸上自衛隊第15旅団、豊見城警察署、沖縄総合事務局、沖縄県医師会、南部地区医師会、沖縄電力、NTTテクノロジーフィールド、ドコモCS九州、沖縄セルラー、沖縄県石油商業組合、沖縄県生活協同組合連合会、観光危機管理研究所、救急・災害時ドローンプラットフォームネットワーク、伊江島観光バス

令和2年度沖縄県総合防災訓練編成表



避難所運営委員会各班の任務

班名	任務	人数	装備等
総務班	①避難所運営委員会事務 ②スクリーニング ③避難者の受付、区画の割当 ④受付誘導、待機者のソーシャルディスタンス等の管理	市民2 職員14	机6卓、いす12脚 受付セット×2 非接触体温計1本 受付用パーティション 個人防護装備
情報広報班	①避難所内の掲示物の管理 ②メディア対応	職員2	掲示板、掲示物
管理班	①一般避難者、有症状者のゾーニング、区画の表示 ②避難者の使用する椅子、畳、マット等の搬入配布 ③ごみ箱、消毒用資材、テレビ、充電器等の設置、配置 ④区画の換気、必要なパーティションの設置	市民11 職員16	机4卓、いす100脚、 畳72枚、マット50枚 テレビ2台、扇風機4 台、簡易トイレ×2他
保健衛生班	①派遣医師との調整、医療救護所の運営 ②一般、有症状者の区画における健康相談、巡回 ③衛生用品、消毒液等の補充、公共场所の点検指導	職員10 医師団 調整中	個人防護装備 医療救護所用薬品 消毒液等衛生用品
医療福祉班	①要配慮者の対応 ②外国人避難者の通訳等対応	市民4 職員4	ポケトーク2台
食料物資班	①食堂の配食場、食堂の配置 ②食堂テーブル等の消毒 ③残飯、ごみ等の回収 ④有症状者区画での食堂の運営、食事の運搬	市民7 職員13	机30卓、いす60脚 次亜塩素酸ナトリウム 希釈液スプレー×10 アルコール消毒液×2

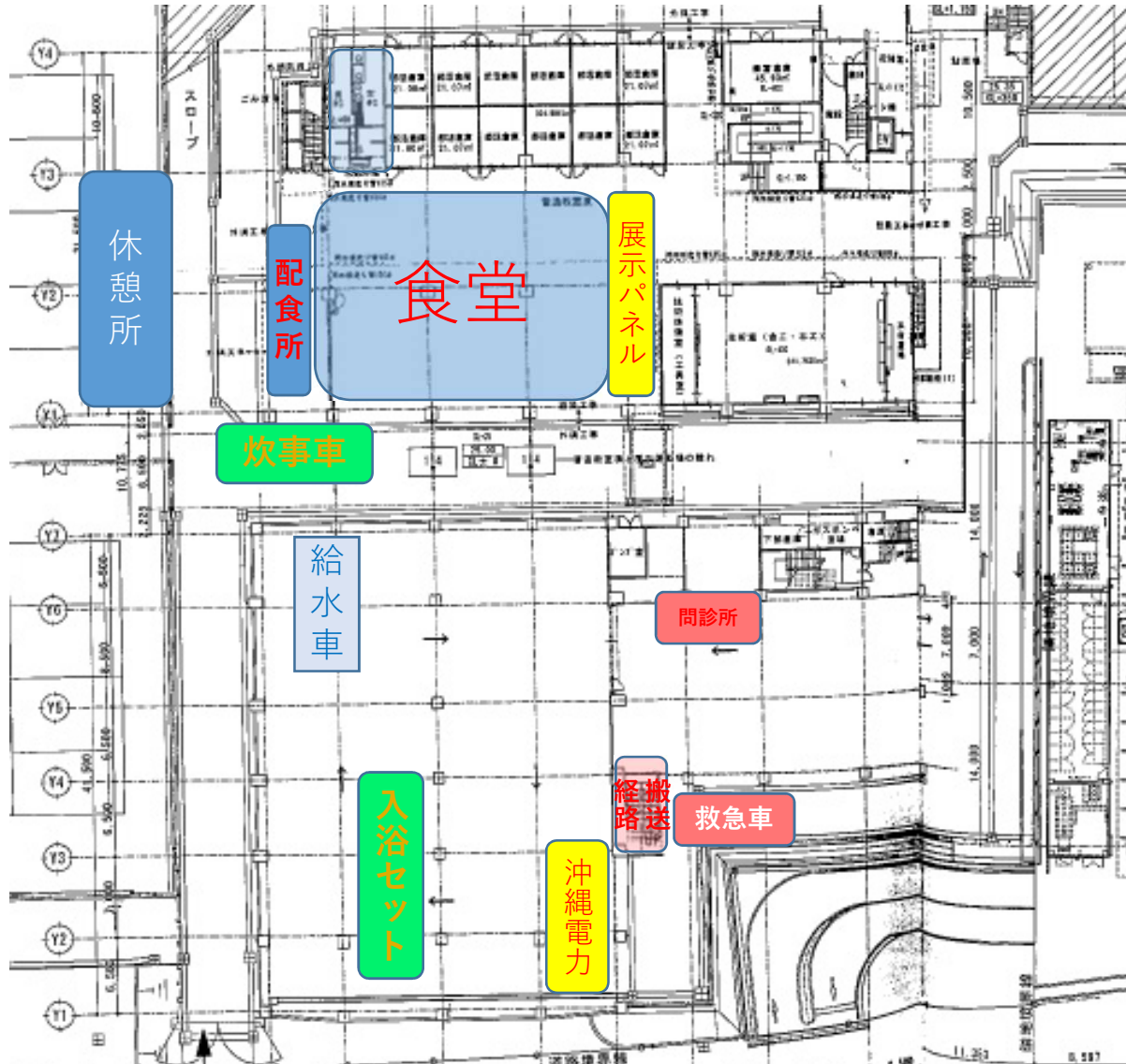
各防災関係機関の任務

機関名	任務	人数	装備等
陸上自衛隊第15旅団	<ul style="list-style-type: none"> ①感染防護衣（PPE等）脱着要領の教育支援 ②感染症に配慮した入浴支援 ③感染症に配慮した給食支援 ④音楽隊の避難所慰問演奏 	調整中	タイベックススーツ 屋外入浴セット 野外炊事車等
豊見城警察署	<ul style="list-style-type: none"> ①避難所への立ち寄り警戒 ②防犯指導 	調整中	掲示板、掲示物
豊見城市消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ①体調急変者の救急搬送 ②感染疑い者の搬送支援 	調整中	個人防護装備 救急車等
沖縄県医師会 南部地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> ①派遣医師との調整、医療救護所の運営 ②一般、有症状者其々の区画での健康相談、巡回 ③衛生用品、消毒液等の補充、公共场所の点検指導 	調整中	個人防護装備 医療救護所用薬品 消毒液等衛生用品
インフラ企業等	<ul style="list-style-type: none"> ①沖縄電力（電力供給支援） ②NTTフィールドテクノ、ドコモCS九州、沖縄セルラー電話による通信確保 ③沖縄県石油商業組合（燃料供給） 	調整中	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ①沖縄総合事務局（給水車配置） ②観光危機管理研究所（外国人避難者の通訳等） ③伊江島観光バス（EVバスでの避難スペース確保） ④救急・災害時ドローンプラットフォームネットワーク（EV車での電力供給） ⑤沖縄県生活協同組合連合（給食食材の提供） 	調整中	給水車 EVバス EV車

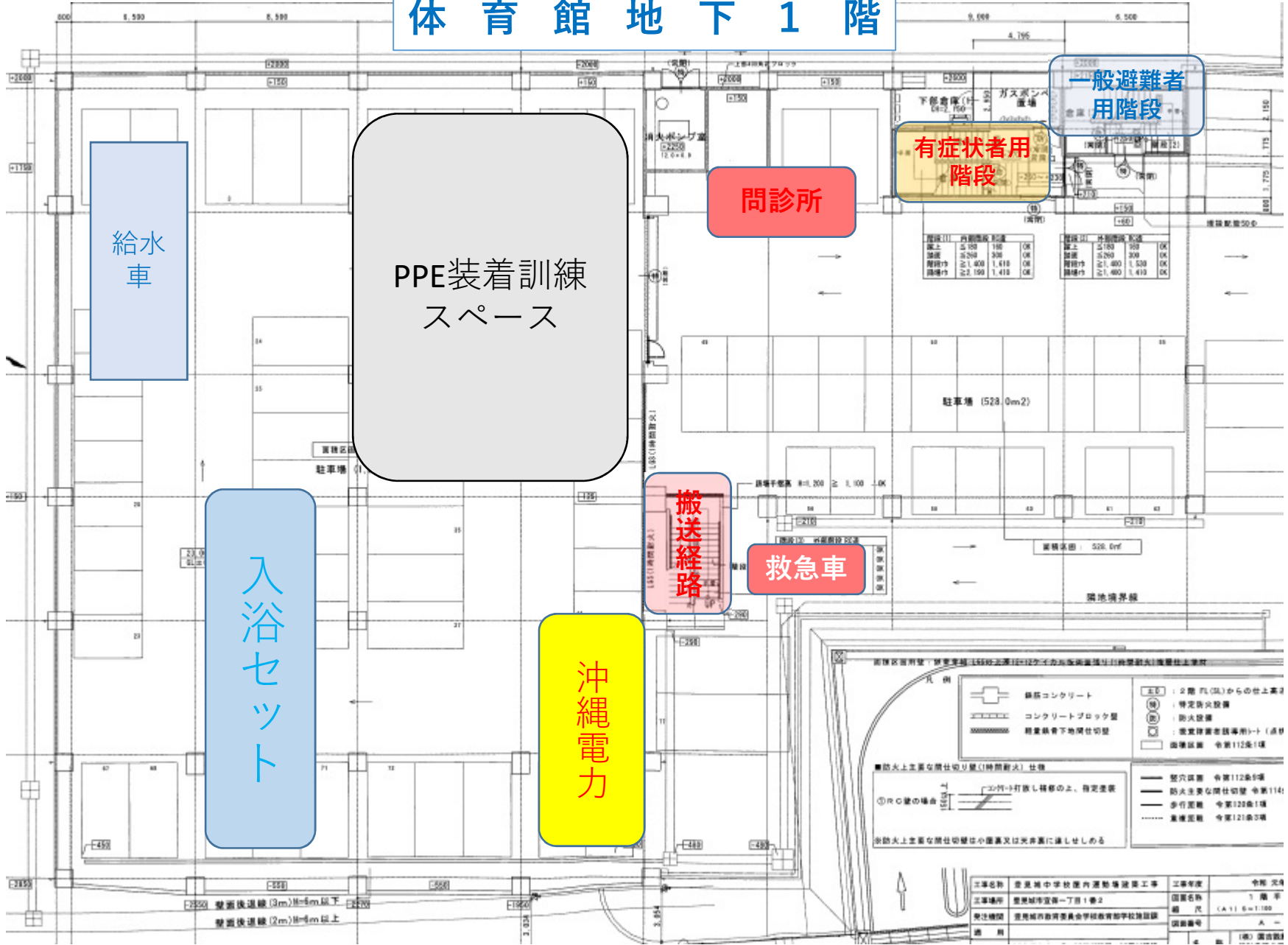
避難所設置運営訓練タイムスケジュール概要

時刻	行 動 概 要
16日8:30	(訓練参加者集合 (ピロティ) 出欠確認)
9:00	第 1 回 避難所運営委員会
9:00-9:15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊見城中学校指定避難所の運営委員会の編成完結 ・ 準備要領説明(受付等受け入れ態勢の確立、避難区域の表示、トイレ等の必要な備品等の輸送準備)
9:15-9:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各班ごとの班長からの細部指示
09:30	避難所開設準備開始 <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要器材、備品等の搬入、避難者の割り当て区画、通路の表示。公共場所の区分表示 ・ 受付の防疫資材の処置、受付の際のソーシャルディスタンス、立ち入り禁止区域、立ち入り制限地域等の表示他
10:00	関係機関の受入れ案内
11:00	受入最終点検 (問診所、受付及び経路、避難所区画、トイレ、各施設の防疫・消毒要領)
11:30～	避難者受付開始 (避難所運営開始)
12:30	昼食配食開始
13:30	(状況)豊見城警察署 避難所状況確認、防犯指導
14:30	(状況)有症状者の体調急変、医療救護所対処、救急搬送
(15:00)	(状況)第 2 回 避難所運営委員会 状況終了

校舎 1階ピロティ・地下1階駐車場



体育館地下1階



給水車

PPE装着訓練
スペース

問診所

有症状者用
階段

一般避難者
用階段

入浴セット

沖縄電力

搬送経路

救急車

階段11	向	面積	㎡	OK
階段12	向	面積	㎡	OK
階段13	向	面積	㎡	OK
階段14	向	面積	㎡	OK

■防火上主要な閉鎖仕切り壁(時間耐火)仕切

①R/C壁の場合

※防火上主要な閉鎖仕切壁は小間隔又は天井裏に達しせしめる

○	鉄筋コンクリート	△	2階 凡(3)からの地上高2
□	コンクリートブロック壁	◎	特定耐火設備
▨	軽量鉄骨下地閉鎖仕切壁	⊙	防火設備
		⊚	非常時避難者誘導用スト(点灯)
		□	避難経路 今第112条1項

— 壁穴設置 今第112条6項
 — 防火上主要な閉鎖仕切壁 今第114条
 — 歩行距離 今第120条1項
 - - - 避難経路 今第121条3項

工事名称	豊城中学校屋内運動場建設工事	工事年度	令和 元 年
工事場所	豊城町宜保一丁目1番2	図面名称	1 階 平
発注機関	豊城町教育委員会学校教育部学校施設課	縮 尺	CA 1/ 5 = 1/ 50
図 別		図面番号	A -

体育館 1階

一般避難者用
スペース

一般避難者
受付

有症状者用
階段

一般避難者
用階段

運営委員会

医療・救護所

凡例

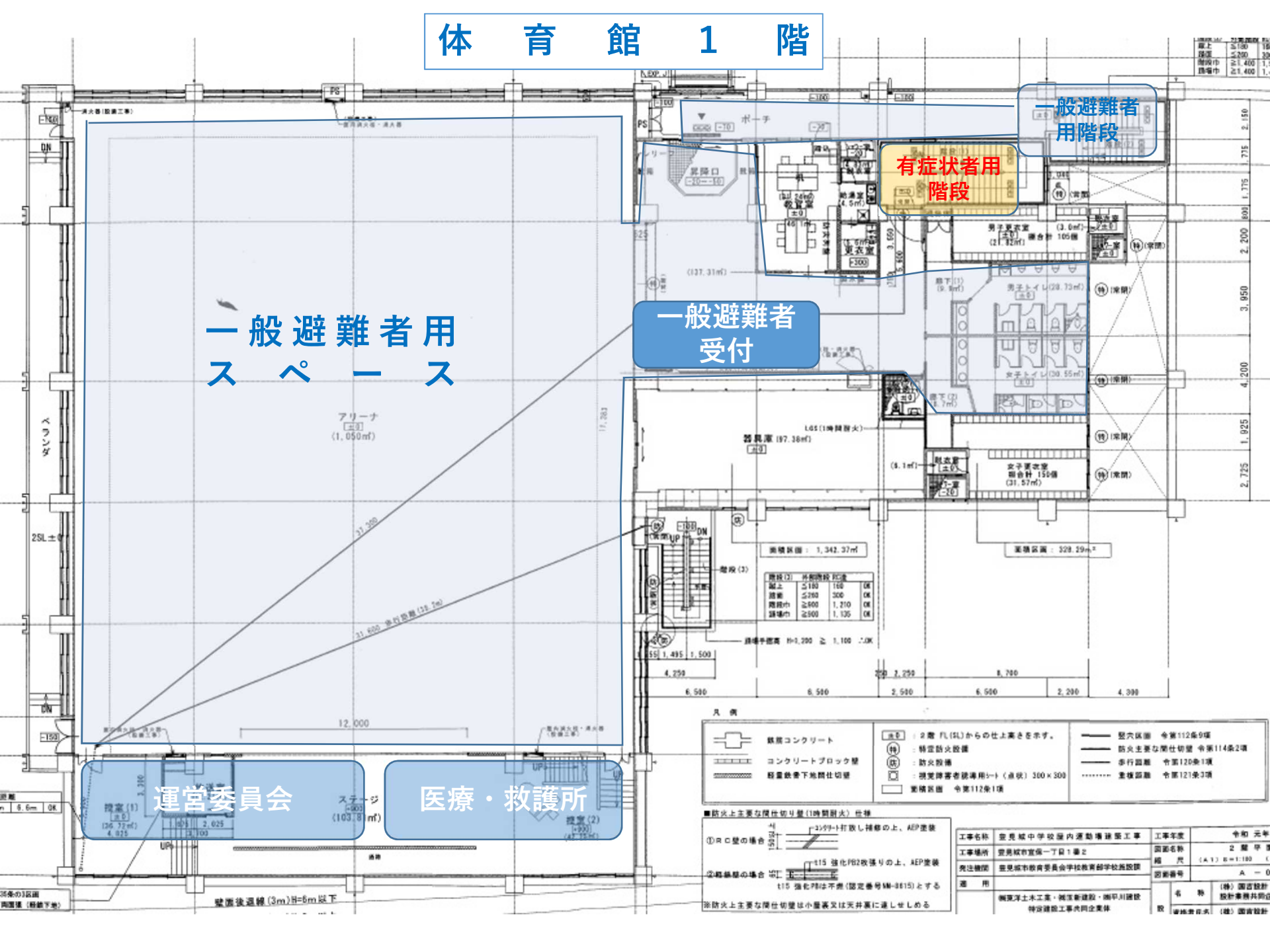
	鉄骨コンクリート		2階 凡(5L)からの仕上りを示す。		壁区画 令第112条9項
	コンクリートブロック壁		特定防火設備		防火主要な開仕切壁 令第114条2項
	軽量鉄骨下地開仕切壁		防火設備		歩行通路 令第120条1項
			避難者誘導用扉(点検) 300x300		重複区画 令第121条3項
			重複区画 令第112条1項		

防火上主要な開仕切壁(1時間耐火)仕様

①開口壁の場合	2599+打ちし補修の上、AEP塗装
②柱廊壁の場合	t15 強化FR2改修の上、AEP塗装
	t15 強化FRは不燃(認定番号M-3615)とする

※防火上主要な開仕切壁は小窓又は天井裏に差ししめる

工事名称	奈良県中学校屋内運動場修繕工事	工事年度	令和元年
工事場所	奈良県市宮原一丁目1番2	図面名称	2階平面
発注機関	奈良県学校教育委員会学校教育部学校施設課	縮尺	(A1) 1/100
適用		図面番号	A-0
	奈良県土木工業・測量建設・測量川建設 特定建設工事内企業体	備考	(特) 国土設計 設計業務共同 取組

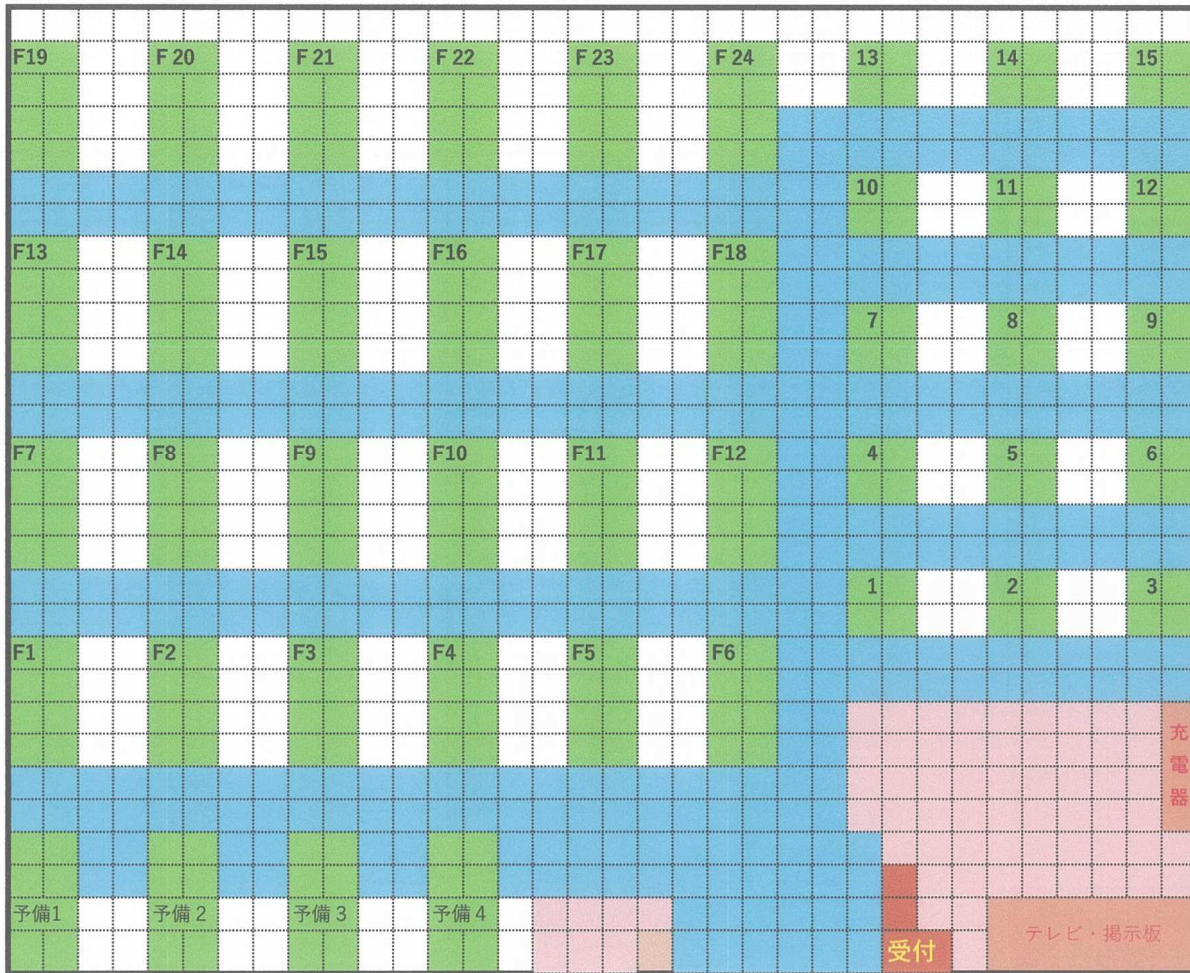


一般避難者スペース(アリーナ)の区画割り当ての考え方



- 1 一般区画において、気を付けることとして、症状ない感染者の可能性を考慮すること。
- 2 特に感染した場合、重篤化する可能性のある50歳代以上の避難者と若年者層家族の区画の距離をできる限り離して準備。
- 3 要配慮者、外国人等については連携を取りやすいように受付、外国人等担当者の近くに指定。

一般避難者スペース(アリーナ)の区画割



家族区画(24)

畳 2 枚又はマット人数分、
椅子 2 脚

個人区画(15)

マット 1、椅子 1

区画合計

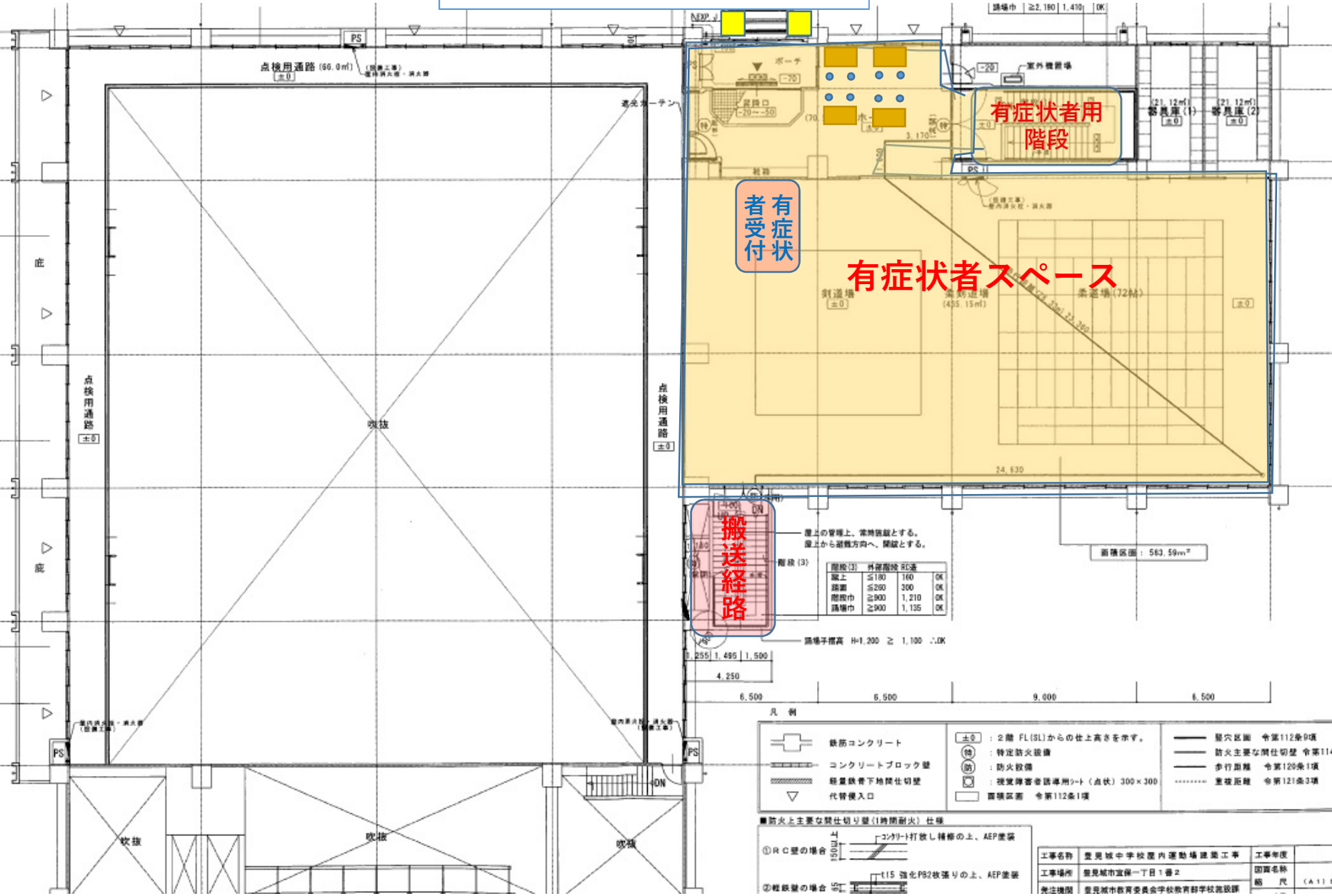
畳42枚、マット30枚
椅子72脚

その他の備品等

受付機 2、椅子 4
テレビ、掲示板
蓋付ごみ箱
延長コード
扇風機 2 機

アリーナの大きさ 縦：30m 横：34m
家族区画を優先して設定。

体育館 2階



有症状者受付

有症状者用階段

有症状者スペース

搬送経路

階上の管理上、常時閉鎖とする。
屋上から避難方向へ、閉鎖とする。

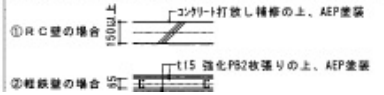
階級(3)	階級(3) 外壁階級 寸法	
階上	≦180	160 OK
階面	≦250	300 OK
階段巾	≧300	1,210 OK
階段巾	≧300	1,135 OK

階高子階高 H=1,200 ≧ 1,100 .OK

凡例

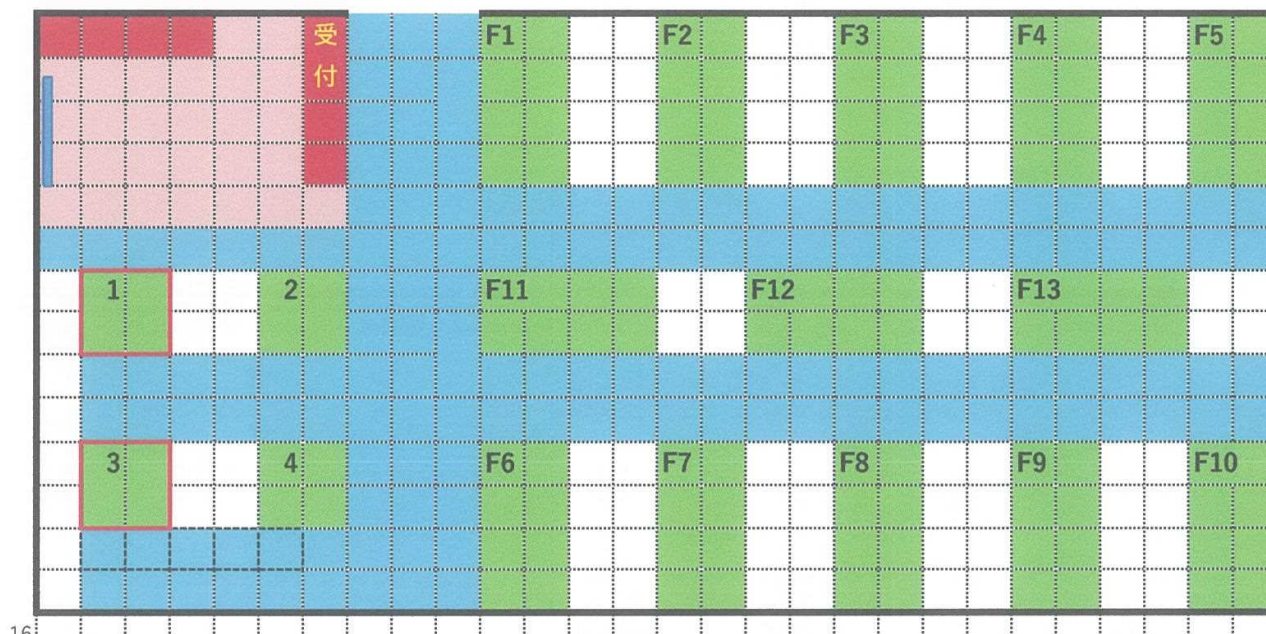
	鉄筋コンクリート	±0.0	: 2階 FL(SL)からの仕上げ高さを示す。		防火主要な間仕切り壁 令第112条9項
	コンクリートブロック壁	特	: 特定防火設備		防火主要な間仕切り壁 令第114条2項
	防火設備	防			歩行距離 令第120条1項
	検定済警報器専用ポート(点状) 300×300	防			重複距離 令第121条3項
	代管出入口				重複距離 令第112条1項

■防火上主要な間仕切り壁(1時間耐火)仕様



工事名称	豊見城中学校屋内運動場建築工事	工事年度	令和3年度
工事場所	豊見城市宜保一丁目1番2	図面名称	3階
発注機関	豊見城市教育委員会中学校教育科学部施設課	縮尺	(A1) 1/50

有症状者スペース(武道場)の区画割



武道場の大きさ 縦：15m 横：28.5m
 家族区画を優先して設定。

家族区画(13)

畳 2 枚、椅子 2 脚

個人区画(4)

畳 1 枚、椅子 1 脚

区画合計

畳30枚、椅子30脚

その他の備品等

受付机 2 卓、椅子 4 脚

テレビ、掲示板

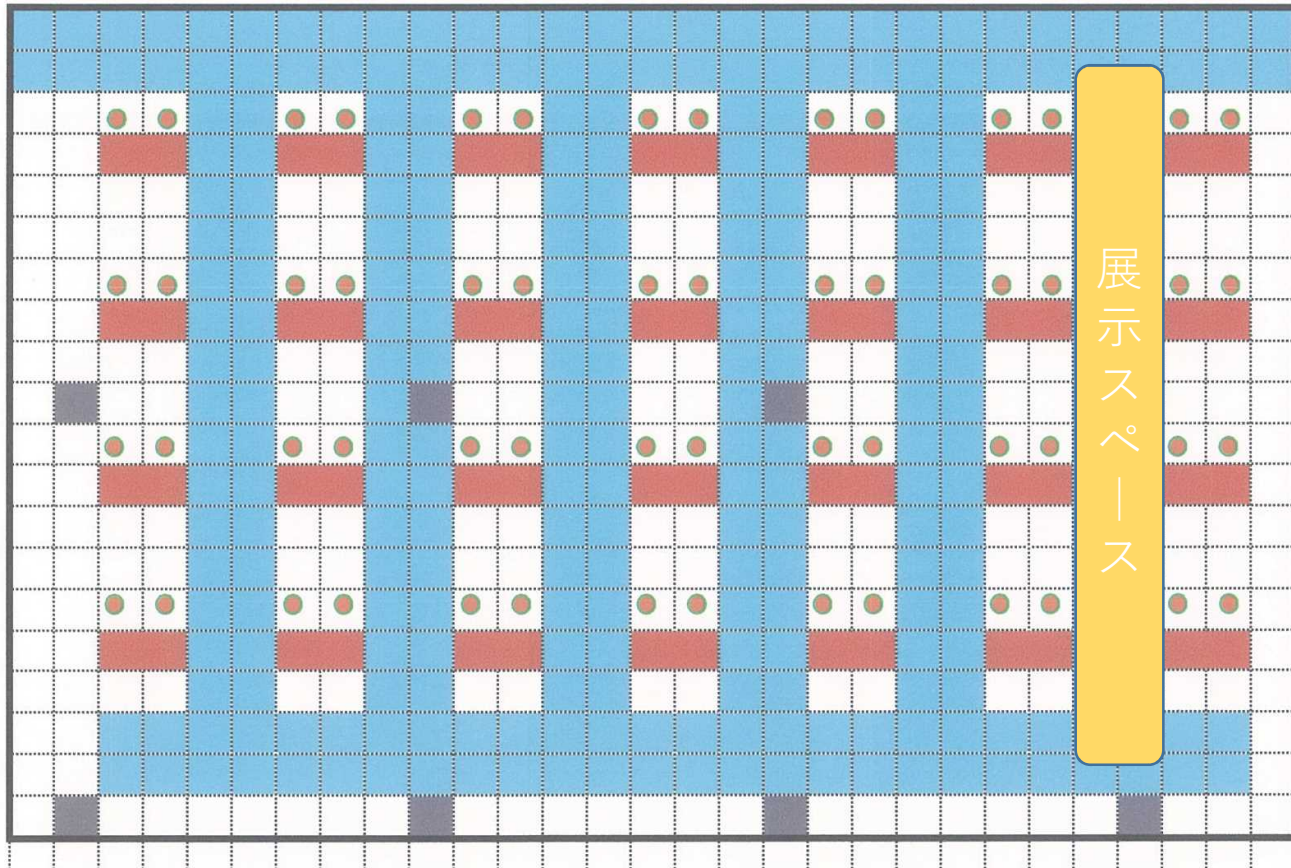
蓋付ごみ箱

延長コード

扇風機 2 台

ラップオン 2 台

食堂スペースの区画割



配食場

配食用机 2 卓
アルコール消毒液 × 2

食堂

机 28 卓、椅子 56 脚
次亜塩素酸希釈スプレー 7

その他の備品等

ザル・残飯用バケツ 1
蓋付きごみバケツ 2

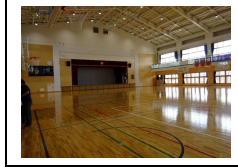
ピロティの大きさ 縦：21m 横：34m
家族区画を優先して設定。

令和2年度沖縄県総合防災訓練実地訓練見学ルート例案（市町村・関係機関）

避難所設置状況

関係機関対応状況

1 避難所設営



時間: 09:00~11:30

実施主体: 豊見城市

実施内容: 避難所での感染症対策として、ゾーニング、案内表示、消毒液、受付等の設置

POINT: 共同空間、占有スペースの確保による収容人数の確認や避難者に応じたゾーニングや感染症対策ルールが重要

2 受付



時間: 11:30~

実施主体: 豊見城市

実施内容: 事前受付（問診所）にて健康者と発熱者等のスクリーニング（振り分け）を実施

POINT: 受付時間の短縮、受付スタッフの人数、記入カード項目の簡素化、住民への事前周知などが重要

3 食事（炊き出し）



時間: 12:30~

実施主体: 陸上自衛隊第15旅団、沖縄県生活協同組合連合会(食糧提供)

実施内容: 調理用手袋の着用、小分け配食、3密避けた食堂設置等

POINT: 上記の対策のほか、食事の運搬や食後の後片付け等への配慮が重要

4 電力復旧等



時間: 13:00~

実施主体: ①沖縄電力、沖縄県石油商業組合②救急・災害時ドローンプラットフォームネットワーク

実施内容: ①電源車による電力復旧、タンクローリーによる燃料補給②EV車による電力確保

POINT: 社会的な重要施設では、非常用発電設備を最低72時間以上稼働可能できるように、燃料の調達先の確保等、平時からの備えが重要

5 タイベックスーツ着脱



時間: 13:20~

実施主体: 陸上自衛隊第15旅団

実施内容: 市職員に対する正しいタイベックスーツ（防護服）の着脱教育

POINT: 防護服に隙間が生じないように、また、脱ぐ際に飛沫等が付着した箇所につれないような正しい着脱が重要

6 入浴



時間: 随時（11:00~15:00）

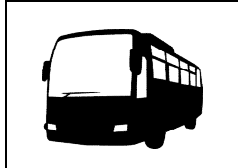
実施主体: 陸上自衛隊第15旅団、沖縄総合事務局

実施内容: シャワー室等入浴施設設置

POINT: シャワー室は一般者用と有症状者用を区分するのが望ましいが、難しい場合は時間帯による区分を実施。ドアノブ等接触の多い箇所の消毒が重要

避難所運営状況

7 バスによる避難場所の確保



時間: 随時（11:00~15:00）

実施主体: 伊江島観光バス

実施内容: 災害時の応援協定に基づく大型EVバスによる避難場所の確保、電気の供給、人員輸送等

POINT: 騒音等がなく、高齢者や妊婦の避難場所として活用が期待できる

8 通信の確保(避難者)



時間: 随時（11:00~15:00）

実施主体: NTTワールドテック、ドコモCS

実施内容: 九州、沖縄セルラー電話ポータブル衛星による通信確保、0000JAPANの活用

POINT: 電話やPC設置スペース、充電場所等の通信手段を確保することで、避難者ニーズへの早期対応が重要

9 外国人対応



時間: 随時（11:00~15:00）

実施主体: 豊見城市、観光危機管理研究所

実施内容: 多言語対応、ゾーニング、避難者名簿の作成等

POINT: 災害時における外国人対応は平時と比べより困難であることから、事前に具体的な対応策を講じることが重要

10 警察巡回



時間: 13:50~

実施主体: 豊見城市警察署

実施内容: 地域パトロールの一環として避難所の巡回、防犯指導、相談受理、広報啓発活動等

POINT: 運営委員会との連携強化、避難所内の防犯指導、各種相談等の受理

11 JMAT巡回



時間: 14:00~

実施主体: 県医師会及び南部医師会

実施内容: 県からの要請に応じて派遣されたJMAT（日本医師会災害医療チーム）による避難所活動等

POINT: 医療救護所の設置、避難住民の巡回診察（有症状者対応時はPPE着用）

救急搬送

12 救急搬送



時間: 14:30~

実施主体: 豊見城市消防

実施内容: 避難者の容態が悪化した際の消防による救急搬送

POINT: 新型コロナウイルス感染の疑いを考慮し、予め区分した専用ルートにより搬送することが重要

※上記見学ルートは、参考となりますので自由に見学いただいて構いませんが、ソーシャルディスタンスを保ち、密を避けていただくようお願いします。

※避難所（体育館）では、ギャラリー（2階通路）からご見学ください。